

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅲ-1-4 高等教育の充実

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 総務部総務課長 山崎 祥 電話番号 0852-22-5011

事務事業の名称	公立大学法人島根県立大学運営費交付金	
目的	(1) 対象	公立大学法人島根県立大学
	(2) 意図	法人の自律的な運営を促しつつ、財務上の健全性を保つ
事業概要	地方独立行政法人法第24条に基づき、公立大学法人島根県立大学に対し、その運営費に必要な経費（臨時的な経費を除く）を交付する。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
				目標値		3.50	3.50	3.50	
式・定義	各年度計画の評定値（1～5）の合計／年度計画項目数	実績値	0.00	0.00	0.00	3.50			
		達成率		0.00	0.00	100.00		%	
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
			目標値	0.00	0.00				
式・定義	実績値	0.00	0.00	0.00					
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	1,832,993	1,785,603
うち一般財源(千円)	1,331,873	1,284,608

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	③改善策を検討中
---------------------	----------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

四半期ごとに運営費交付金を交付。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

- ・学生募集で新たにテレビCMなどに取り組むなど、積極的な情報発信を行った。
- ・「しまね地域共生センター」を新たに設置し、松江キャンパスにおける地域貢献窓口の一元化を実現した。
- ・松江キャンパスにおいて、新たに同窓会拠点を設置するなど、学生と同窓会との交流を促進した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

全学センター所属教員のスムーズな意思疎通の実現。

②困っている状況が発生している「原因」

教員が3キャンパスそれぞれに所在している。

③原因を解消するための「課題」

対面形式による交流の機会を設定し、スムーズな意思疎通を促進する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

研修などの場を活用し、少なくとも年1回は対面形式で交流する機会を設定する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）